

# 令和8年度

# 市政執行方針 教育行政執行方針

2月25日に第1回函館市議会定例会で行った執行方針の演説について、内容を要約して紹介します。



函館市長 大泉 潤



教育長 藤井 壽夫

**本**市においては、依然として深刻な人口減少が続いていますが、この現状をあきらめることなく食い止め、市民の皆様が函館で将来にわたって安全・安心に暮らし続けられるよう、まちの活力を維持・発展させていくことが必要です。

私はその先頭に立ち、未来への挑戦を恐れず、選択と集中による戦略的な投資により、時代の変化を追い風として函館のまちの成長へと変えていきます。

多くの方から選ばれるまちになるよう、子育て・教育・福祉などへの支援はもとより、地域資源を生かした魅力的な活動の創出や地場産業

の振興を図ります。あわせて、函館の都市ブランドを世界水準に引き上げられるよう、本市が持つ数多くの強みや魅力をあらゆる分野でさらに磨き上げ、情報発信することで、世界からも注目される都市の形成を目指します。

また、道南の各市町と手を携え、圏域一体の価値を高めることで活力ある豊かな函館の成長へとつなげるとともに、市民の皆様と世代や立場を超えてつながり、心を一つにして知恵を出し合いながら、次の世代へと誇れる、選ばれる函館の未来をもに創り上げるため、全力を尽くしてまいります。

また、道南の各市町と手を携え、圏域一体の価値を高めることで活力ある豊かな函館の成長へとつなげるとともに、市民の皆様と世代や立場を超えてつながり、心を一つにして知恵を出し合いながら、次の世代へと誇れる、選ばれる函館の未来をもに創り上げるため、全力を尽くしてまいります。

**令**和8年度に重点的に取り組む施策について申し上げます。

子ども一人ひとりが、変化できる社会を主体的に生き抜くことができるよう、個々の可能性を最大限に引き出す教育の実現を目指し、学校に多様な人材を配置するなど、きめ細かな指導体制の整備を進めるとともに、生成AIを含むICTの効果的な活用により、確かな学力の向上に向けた学習活動の充実を図ります。

保護者や地域が教育活動に参画しながら、「チーム学校」として一体となつて子どもを育めるよう、地域とともにある学校づくりを推進します。新たに作成した「函館郷土の歴史

人物読本」を活用するとともに、その内容の充実を図りながら、函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力のさらなる育成を図ります。

心の豊かさを育む文化芸術の振興については、縄文世界遺産登録5周年にあたり、縄文文化の魅力発信に努めます。

健やかな心身を育む運動やスポーツの振興については、国内外の18歳以下の育成年代が集う国際サッカー大会の開催支援など、様々なスポーツイベントの誘致・支援に努めるほか、「Jリーグクラブ」「RB大宮アルディージャ」の夏季キャンプ実施に向け、受入環境の整備に取り組めます。

# 令和8年度 予算案

～市の8年度の予算案が決まり、開会中の市議会定例会に提案しています～

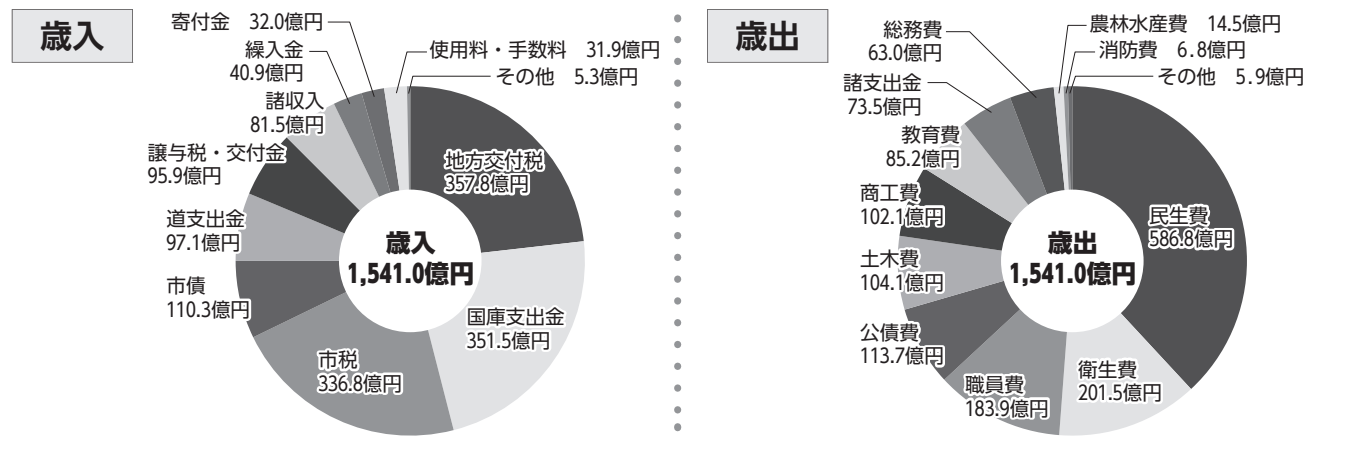
令和8年度の予算編成にあたっては、令和6年11月に公表した「今後の財政見通し」において、多額の収支不足が見込まれる厳しい状況であったことから、「行財政改革推進プラン」に基づく対策を実行するなど、健全な行財政運営に努めることを基本に、限られた財源の中においても、選択と集中の視点を持ちながら、引き続き、喫緊の課題である人口減少への対策として、子ども・子育て、教育など未来に向けた施策を実施するとともに、市民の幸福度の向上につなげるための各種施策に取り組むこととし、その結果、下記のとおりとなったところです。



## 4つの分野を柱として予算を編成しています

- 未来をひらくひとを支えるまちをめざします**
- 地域経済を活性化します**
- 健康で充実した暮らしを支えます**
- 多くの人を惹きつける、魅力あるまちをめざします**

### 一般会計 行政の基本的な事業に要する経費を市税などを主な財源として経理する会計



### 特別会計 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の事業に充てて経理する会計

区分	金額	7年度当初予算額に比べ	
		増減額	増減率(%)
港湾事業	28.5億	0.8億	3.1
国民健康保険事業	244.4億	△13.8億	△5.3
自転車競走事業	305.6億	△43.1億	△12.4
奨学資金	0.2億	-	△6.8
地方卸売市場事業	4.4億	0.3億	6.5
介護保険事業	329.2億	10.1億	3.2
発電事業	0.0億	-	0.0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1.9億	0.4億	24.8
後期高齢者医療事業	59.4億	7.4億	14.3
合計	973.6億	△37.9億	△3.7

### 企業会計 独立採算による特定の事業を経理する会計

会計区分	収益的収支		資本的収支	合計	純利益純損失	資金不足額	一般会計からの繰入
	収入	支出					
水道事業	48.6億	47.5億	19.9億	68.5億	△1.2億	△26.6億	5.1億
公共下水道事業	79.5億	70.0億	31.9億	111.4億	8.4億	△19.5億	23.4億
交通事業	17.5億	17.9億	4.2億	21.7億	△0.7億	△0.5億	4.7億
病院事業	267.8億	277.1億	32.8億	300.6億	△9.3億	△16.7億	28.2億
合計	413.4億	412.5億	88.8億	502.2億	△2.8億	△65.6億	61.4億

※「資金不足額」の項は、財政健全化法の資金不足額を表示しています。

## 医療・健康増進

幅広い世代へのオーラルフレイルの予防事業を実施し、口腔保健を推進するとともに、在宅医療の提供体制を強化するほか、南茅部病院については、令和9(2027)年4月の開院に向け、整備を進めます。



## 教育環境の充実

特別支援教育支援員の増員など、教育上特別な配慮を要する児童生徒への対応に引き続き取り組むほか、快適な学習環境の確保のため、全ての小学校への常設型エアコンの設置が完了するよう進めます。



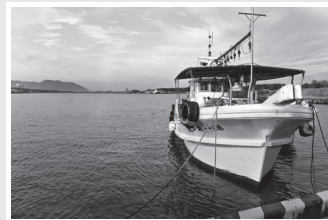
## ジェンダーギャップの解消

企業向けセミナーや学生の視点を生かした企業の実態調査を実施し、若者や女性に選ばれる職場となるための現状把握と分析を行うなど、職場におけるジェンダーギャップの解消を図ります。



## 一次産業の振興

イカ釣り漁業への支援や、キングサーモン・コンブの養殖に関する研究を継続するほか、グリーンツーリズムの推進や未整備森林の解消を図るなど、農林水産業の持続的発展を目指します。



## 子育て支援

第2子以降の保育料無償化や小学校入学時の祝金の支給など、子育てにおける経済的負担の軽減を図るほか、子どもたちが身近な地域において安全・安心に過ごすことができる居場所づくりを進めます。



## 高齢者福祉

地域包括支援センターにおける相談支援や高齢者交通料金助成を継続するほか、介護事業所等の人手不足については、引き続き新規および継続就労に対する奨励金の支給などにより人材確保に努めます。



## GX(グリーントランスフォーメーション)の推進

GXがもたらす地域産業への波及効果を最大限に享受できるよう、洋上風力発電事業への地元企業の参入機会の創出や関連産業の集積、関連人材の育成、港湾利用の活性化などに取り組みます。



## スポーツの振興

うみしんフットボールパークにおいてJリーグの夏季キャンプの受入れや天然芝コート改修などの環境整備を行うほか、スポーツ合宿の補助金を拡充し、本市の合宿地としての認知度向上を図ります。



## 移住・二地域居住の推進

移住支援金の支給やお試し移住の実施などにより、移住・定住者の誘致を図ります。また、地域おこし協力隊を活用して、二地域居住者の住まいの確保を支援するなど、受入体制を整備します。



## PICKUP 市民生活の支援



高齢化により亡くなる方が増加するなか、遺族の負担を軽減するため、おくやみ相談窓口を設置し、利用者一人ひとりに合わせた必要な手続きの案内やサポートを行います。また、犯罪被害に遭われた方が1日も早く日常を取り戻し、安心して暮らすことができるよう、犯罪被害者等支援条例の制定に向けて必要な支援策を検討するほか、手話言語条例と障がい者コミュニケーション条例を施行し条例の理念について周知啓発を図るなど、障がいの有無にかかわらず、互いに尊重し合う共生社会の実現を目指します。

## PICKUP 宿泊税を活用した観光施策の充実



本年4月から導入する宿泊税を活用し、多角的な海外プロモーション等を通じた誘客による観光業の活性化、テーマに沿った魅力あるコンテンツの造成やスマートツーリズム・ユニバーサルツーリズムの推進による質の高い観光の提供、冬季観光の魅力向上・誘客強化、インバウンド対応が可能なガイドをはじめとする人材育成など、函館観光の価値を高める新たな取組を進めます。また、道南の各市町と連携し、戦略的な観光施策を展開することにより、道南の延べ宿泊者数1千万人を目指します。

## 地域経済の活性化

奨学金の返還支援など、若者の地元就職につながる取組を進めるほか、継続的な企業誘致や創業・スタートアップの促進を通じて多様な人材が活躍できる環境を整備し、地域経済の活性化を図ります。



## 新幹線・公共交通

新幹線の函館駅乗り入れ検討や札幌開業の早期実現に向けて取り組むほか、西部地区でのA1デマンド交通や楯法華地域での公共ライドシェアによる実証運行など、新たな交通の導入を検討します。



## 看護系大学等の設置

少子化に伴い医療の担い手が減少するなか、将来にわたって地域の医療提供体制を維持するため、公立はこだて未来大学への看護学部設置に向け、取り組んでまいります。



これが令和8年度の函館市です

# 主な事業紹介